



2023年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月9日

上場会社名 株式会社スプリックス 上場取引所 東
コード番号 7030 URL <https://sprix.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 常石 博之
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 平井 利英 TEL 03(6912)7058
四半期報告書提出予定日 2023年8月9日 配当支払開始予定日 ー
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期第3四半期の連結業績 (2022年10月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|--------|------|-------|-------|-------|-------|----------------------|--------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年9月期第3四半期 | 21,750 | 3.0 | 119 | △90.2 | 119 | △90.2 | △16 | △102.2 |
| 2022年9月期第3四半期 | 21,109 | 25.3 | 1,211 | △13.0 | 1,215 | △12.8 | 741 | △5.9 |

(注) 包括利益 2023年9月期第3四半期 △21百万円 (△102.9%) 2022年9月期第3四半期 734百万円 (△4.9%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年9月期第3四半期 | △0.94 | △0.92 |
| 2022年9月期第3四半期 | 43.29 | 41.97 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2023年9月期第3四半期 | 18,070 | 9,129 | 50.3 |
| 2022年9月期 | 19,574 | 9,774 | 49.8 |

(参考) 自己資本 2023年9月期第3四半期 9,082百万円 2022年9月期 9,739百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年9月期 | — | 19.00 | — | 19.00 | 38.00 |
| 2023年9月期 | — | 19.00 | — | — | — |
| 2023年9月期 (予想) | — | — | — | 19.00 | 38.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年9月期の連結業績予想 (2022年10月1日～2023年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|-------|-------|-------|---------------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 30,777 | 4.9 | 1,226 | △55.9 | 1,240 | △55.4 | 674 | △58.0 | 39.32 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2023年9月期3Q | 17,633,250株 | 2022年9月期 | 17,487,150株 |
| ② 期末自己株式数 | 2023年9月期3Q | 341,085株 | 2022年9月期 | 345,285株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2023年9月期3Q | 17,276,860株 | 2022年9月期3Q | 17,136,606株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (会計方針の変更) | 8 |
| (セグメント情報等) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当第3四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される一方、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっています。また、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある状況となっております。

また、新型コロナウイルス感染症の影響を起因とし、あらゆる産業でアナログからデジタルへの転換、サービスの在り方が見直されるなか、IT技術の活用等による新たな教育・指導形態の必要性も一層高まってきております。

中核事業である個別指導形式の学習塾「森塾」におきましては、当第3四半期連結会計期間末において202教室（前年同期比18教室増）展開しておりますが、その内訳は、株式会社スプリックス運営が157教室（前年同期比18教室増）、株式会社湘南ゼミナール運営が45教室（前年同期比増減なし）であります。なお、森塾においては、今春から授業料を一部値上げしましたが、生徒数は順調に推移しています。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末における「森塾」在籍生徒数は43,494人と株式会社湘南ゼミナールの運営する「森塾」と合わせ、前年同期比2,846人増となりました。その内訳は、株式会社スプリックス運営が34,701人（前年同期比2,952人増）、株式会社湘南ゼミナール運営が8,793人（前年同期比106人減）であります。

集団指導形式の学習塾「湘南ゼミナール」におきましては、当第3四半期連結会計期間末において197教室（前年同期比16教室増）を展開しております。2023年春の合格実績は回復したものの、合格実績が浸透するまでには時間を要するため、新型コロナウイルス感染症が冬期に再拡大したこと、及び2022年春の合格実績が軟調であったことなどによる2023年3月までの生徒数減少の影響により、当第3四半期連結会計期間末における「湘南ゼミナール」在籍生徒数は18,456人（前年同期比251人減）となりました。

講義映像とチューターを用いた大学受験指導を行う学習塾である「河合塾マナビス」におきましては、当第3四半期連結会計期間末において株式会社湘南ゼミナールがフランチャイジーとして50教室（前年同期比2教室増）を展開しております。大学入試における推薦入試の伸長の影響による高校3年生の生徒数減少などから、当第3四半期連結会計期間末における「河合塾マナビス」在籍生徒数は4,144人（前年同期比341人減）となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間における主な学習塾ブランドごとの売上高、セグメント利益、教室数及び生徒数は以下のとおりであります。

| | 森塾 | | | 湘南ゼミナール | 河合塾マナビス |
|--------------------------|-----------|--------------|---------------|----------|----------|
| | | スプリックス 運営 | 湘南ゼミナール 運営 | | |
| 売上高（注1） | 11,356百万円 | 9,025百万円 | 2,330百万円 | 6,173百万円 | 1,987百万円 |
| セグメント利益又は損失 （△）（注1、2） | 2,339百万円 | 1,816百万円 | 522百万円 | 309百万円 | △25百万円 |
| EBITDA（注3） | 2,502百万円 | 1,896百万円 | 606百万円 | 564百万円 | 100百万円 |
| 2023年6月末現在教室数 | 202教室 | 157教室 | 45教室 | 197教室 | 50教室 |
| 2023年6月末現在生徒数 | 43,494人 | 34,701人 | 8,793人 | 18,456人 | 4,144人 |

注1）売上高は外部顧客への売上高、及びセグメント利益は、セグメント間取引の相殺前の数値であります。

注2）セグメント利益又は損失は、のれんを除く無形固定資産の償却費を反映しております。

注3）EBITDAは、営業利益+支払利息+減価償却費であります。

「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「新規事業（研究開発費等を含む）」、「自立学習RED」、「そら塾」、教育関連サービス（フォレストシリーズの販売、「東京ダンスヴィレッジ」、「和陽日本語学院」、「プログラミング能力検定」の運営）等を含んでおります。

「自立学習RED」は、教育ITを利用した学習塾であり、当第3四半期連結会計期間末において直営6教室（前年同期比1教室増）、FC189教室（前年同期比8教室増）を展開しております。

また、「その他」に含まれる教育関連サービスにおきましては、個別指導用教材「フォレストシリーズ」、ICTを活用した映像教材「楽しく学べるシリーズ」、塾講師募集webサイト「塾講師JAPAN」などの既存事業がいずれも好調だったことに加え、AIタブレットで基礎学力を養成する「DOJO」や、株式会社サイバーエージェントグループと協業中の「キュレオプログラミング教室」「プログラミング能力検定」などの新規事業も順調に拡大しております。さらに、投資フェーズではありますが、国際基礎学力検定「TOFAS」の受験者数は200万人を突破し、今期計画に対して順調に推移しています。

当第3四半期連結累計期間は、森塾に係る広告宣伝を前年度より前倒しして実施しております。また、新規事業や研究開発に対し積極的な投資を行い、計画に対して順調に進捗いたしました。引き続き、学習塾サービスとの相乗効果を最大限に発揮するための投資、研究開発を積極的に進めてまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は21,750百万円（前年同期比3.0%増）、営業利益は119百万円（前年同期比90.2%減）、経常利益は119百万円（前年同期比90.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失は16百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益741百万円）、EBITDA（＝営業利益+支払利息+のれん償却+減価償却費）は1,000百万円（前年同期比51.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、18,070百万円（前連結会計年度末比1,503百万円減）となりました。主な要因は、現金及び預金が1,097百万円減少したことなどによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、8,941百万円（前連結会計年度末比858百万円減）となりました。主な要因は、未払金が785百万円増加したものの、前受金が1,338百万円減少したことなどによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、9,129百万円（前連結会計年度末比644百万円減）となりました。主な要因は、配当金の支払いにより654百万円減少したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2022年11月11日の「2022年9月期 決算短信」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2022年9月30日) | 当第3四半期連結会計期間 (2023年6月30日) |
|--------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 5,935 | 4,838 |
| 売掛金 | 241 | 318 |
| 商品及び製品 | 363 | 421 |
| 仕掛品 | 43 | 21 |
| 貯蔵品 | 29 | 24 |
| 未収入金 | 2,198 | 1,057 |
| その他 | 814 | 1,151 |
| 貸倒引当金 | △40 | △40 |
| 流動資産合計 | 9,586 | 7,793 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 (純額) | 3,004 | 3,148 |
| 土地 | 450 | 450 |
| その他 (純額) | 125 | 234 |
| 有形固定資産合計 | 3,581 | 3,833 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 2,827 | 2,579 |
| ソフトウェア | 196 | 206 |
| その他 | 1,251 | 1,015 |
| 無形固定資産合計 | 4,275 | 3,801 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 25 | 25 |
| 繰延税金資産 | 446 | 524 |
| 敷金及び保証金 | 1,593 | 2,003 |
| その他 | 66 | 89 |
| 貸倒引当金 | △0 | △0 |
| 投資その他の資産合計 | 2,131 | 2,641 |
| 固定資産合計 | 9,987 | 10,277 |
| 資産合計 | 19,574 | 18,070 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2022年9月30日) | 当第3四半期連結会計期間 (2023年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 136 | 138 |
| 未払金 | 1,272 | 2,057 |
| 短期借入金 | — | 637 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 363 | 363 |
| 未払法人税等 | 591 | — |
| 未払消費税等 | 176 | 131 |
| 前受金 | 4,142 | 2,804 |
| 賞与引当金 | 451 | 411 |
| その他 | 480 | 425 |
| 流動負債合計 | 7,614 | 6,969 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,090 | 818 |
| 役員退職慰労引当金 | 71 | 73 |
| 退職給付に係る負債 | 115 | 125 |
| 資産除去債務 | 907 | 954 |
| 繰延税金負債 | 0 | 0 |
| 固定負債合計 | 2,184 | 1,972 |
| 負債合計 | 9,799 | 8,941 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,431 | 1,438 |
| 資本剰余金 | 1,421 | 1,428 |
| 利益剰余金 | 7,266 | 6,595 |
| 自己株式 | △385 | △381 |
| 株主資本合計 | 9,734 | 9,081 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| 退職給付に係る調整累計額 | 5 | 1 |
| その他の包括利益累計額合計 | 5 | 1 |
| 新株予約権 | 33 | 46 |
| 非支配株主持分 | 0 | — |
| 純資産合計 | 9,774 | 9,129 |
| 負債純資産合計 | 19,574 | 18,070 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日) |
|-------------------------------------------|------------------------------------------------|------------------------------------------------|
| 売上高 | 21,109 | 21,750 |
| 売上原価 | 14,545 | 15,027 |
| 売上総利益 | 6,564 | 6,723 |
| 販売費及び一般管理費 | 5,352 | 6,604 |
| 営業利益 | 1,211 | 119 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 0 | 0 |
| 業務受託料 | 2 | 0 |
| 助成金収入 | 4 | 1 |
| 受取手数料 | — | 2 |
| その他 | 4 | 2 |
| 営業外収益合計 | 11 | 7 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 4 | 3 |
| 支払手数料 | 1 | — |
| その他 | 3 | 3 |
| 営業外費用合計 | 8 | 7 |
| 経常利益 | 1,215 | 119 |
| 特別利益 | | |
| 受取補償金 | 30 | — |
| 特別利益合計 | 30 | — |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,245 | 119 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 495 | 212 |
| 法人税等調整額 | 13 | △75 |
| 法人税等合計 | 508 | 136 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 736 | △16 |
| 非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | △5 | △0 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | 741 | △16 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日) |
|--------------------|------------------------------------------------|------------------------------------------------|
| 四半期純利益又は四半期純損失 (△) | 736 | △16 |
| その他の包括利益 | | |
| 退職給付に係る調整額 | △1 | △4 |
| その他の包括利益合計 | △1 | △4 |
| 四半期包括利益 | 734 | △21 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 740 | △20 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △5 | △0 |

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27－2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年10月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注1) | 合計 | 調整額 (注2) | 四半期連結 財務諸表 (注3) |
|---------------------------|---------|-------------|-------------|--------|-------------|--------|-------------|-----------------------|
| | 森塾 | 湘南 ゼミナール | 河合塾 マナビス | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 顧客との契約から 生じる収益 | 10,642 | 6,397 | 2,129 | 19,169 | 1,939 | 21,109 | — | 21,109 |
| その他の収益 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 外部顧客への 売上高 | 10,642 | 6,397 | 2,129 | 19,169 | 1,939 | 21,109 | — | 21,109 |
| セグメント間の 内部売上高又は 振替高 | — | — | — | — | 96 | 96 | △96 | — |
| 計 | 10,642 | 6,397 | 2,129 | 19,169 | 2,035 | 21,205 | △96 | 21,109 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 2,341 | 607 | 124 | 3,072 | △155 | 2,917 | △1,705 | 1,211 |

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「新規事業(研究開発費等を含む)」、「自立学習RED」、「そら塾」、教育関連サービス(フォレストシリーズの販売、「東京ダンスヴィレッジ」「プログラミング能力検定」の運営)等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△1,705百万円には、のれんの償却額△228百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,477百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメント、その他に帰属しない販売費および一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2022年10月1日至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注1) | 合計 | 調整額 (注2) | 四半期連結 財務諸表 (注3) |
|---------------------------|---------|-------------|-------------|--------|-------------|--------|-------------|-----------------------|
| | 森塾 | 湘南 ゼミナール | 河合塾 マナビス | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 顧客との契約から 生じる収益 | 11,356 | 6,173 | 1,987 | 19,517 | 2,233 | 21,750 | — | 21,750 |
| その他の収益 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 外部顧客への 売上高 | 11,356 | 6,173 | 1,987 | 19,517 | 2,233 | 21,750 | — | 21,750 |
| セグメント間の 内部売上高又は 振替高 | — | — | — | — | 101 | 101 | △101 | — |
| 計 | 11,356 | 6,173 | 1,987 | 19,517 | 2,334 | 21,851 | △101 | 21,750 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 2,339 | 309 | △25 | 2,624 | △664 | 1,959 | △1,840 | 119 |

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「新規事業(研究開発費等を含む)」、「自立学習RED」、「そら塾」、教育関連サービス(フォレストシリーズの販売、「東京ダンスヴィレッジ」、「和陽日本語学院」、「プログラミング能力検定」の運営)等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△1,840百万円には、のれんの償却額△228百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,611百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメント、その他に帰属しない販売費および一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。